

マサト 39 歳！めざせさわやか市政！

～まちだ市民クラブ会派活動報告～

町田市議会議員 [39 歳・金森在住]

と つ か ま さ と

戸塚正人



☆ いよいよ令和元年度最後の定例議会が開会！本年もご協力頂き本当にありがとうございました！来年も宜しくご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します！！

9 月の台風 15 号及び 19 号により、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。また、1 日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

令和元年となる本年もいよいよ最後の本会議が始まりました。今回の本会議では、9 月の台風 15 号及び 10 月の台風 19 号による被害があった学校施設、公園、その他公共施設等の復旧対応を迅速に行う為に、多額の予備費を要したことから、今後の不測の事態に備える為に、予備費を増額します。

また、小中学校体育館における児童・生徒の熱中症対策を図ると共に、災害時における市民の避難場所としての機能を強化する為、体育館空調設備の設置工事を実施します。更に、小学校校舎外壁等の改修による防災機能の強化や、防火シャッターの改修などの老朽化対策の為の改修工事についても、一部を前倒しして実施します。

加えて 2121 年 4 月から始まる学童保育クラブでの高学年児童(4 年生～6 年生)の受入れに向けて、町田第一小学校区学童保育クラブを増築するため、実施設計に係る費用の債務負担行為を設定します。

以上が、今回の補正予算です。本年度もいよいよ残り僅かとなりました。本年も様々ご協力賜り心から御礼を申し上げます。来年も変わらぬ義指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

昭和 55 年 4 月 16 日生 (39 歳)
昭和 62 年 金森ひまわり幼稚園卒園
平成 5 年 町田市立南第三小学校卒業
(小学校時代は金森アームズ所属)
平成 11 年 東海大学付属相模高等学校卒業
(野球部に所属)
平成 15 年 東海大学文学部史学科卒業
(準硬式野球部所属、東都大学軟式野球連盟学生委員長)
平成 15 年 株式会社 I・ティ・フード 入社
平成 18 年 町田市議会議員選挙 初当選
平成 30 年 町田市議会議員選挙 4 期目当選
【役職】

まちだ市民クラブ会派 所属
消防団第 2 分団 4 部 班長
地元ソフトボール「オール南三小」所属
一般社団法人町田青年会議所 理事長
金森ひまわり幼稚園 理事
社会福祉法人飛翔会 理事
町田市ソフトボール連盟 顧問
東海大学同窓会町田支部 副支部長
東海大学付属相模高校同窓会 事務局次長
UA ゼンセン東京都支部 政治顧問
三多摩民社協会 理事

→ 19 号。町田市と相模原市の境界を流れる境川は氾濫危険水域だった。



- 市政レポート -

2019.12.1

まちだ市民クラブ会派編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
年間購読料 3,000 円 (送料含む)
定価 1 部 100 円 (消費税込み)



戸塚正人後援会事務所

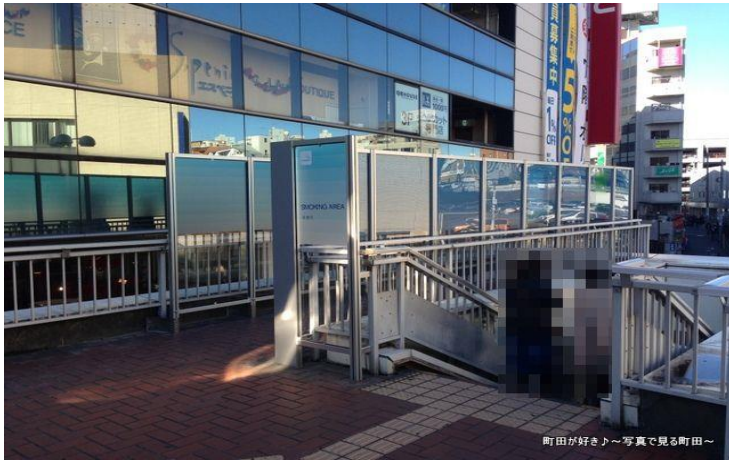
〒194-0012 町田市金森 2-16-6

TEL: 042-727-1704

FAX: 042-723-9935

E-MAIL: tmasato@lucky.odn.ne.jp

市民の生活視点で考えよう！ 戸塚正人 令和元年の議会活動内容と取り組み！



町田が好ま〜写真で見る町田〜

組合員の方々よりの要望事項であった町田駅及び鶴川駅の喫煙所が大幅に改善されます！

小田急線町田駅周辺及び鶴川駅周辺の喫煙所が来年度中に煙が外に出にくい様式に改装される事になりました。この案件については、昨年度来、UAゼンセンの組合員の方々からもご要望頂いていた課題でありましたが、この間の本会議や常任委員会でも議論の甲斐もあり、煙が上部より外に漏れづらい様式に改装される事になりました。具体的な時期などはこれから公表される見込みです。

災害に強い町田市を作る為に、災害廃棄物計画や土砂災害及び雨水対策の改善を求めました！

10月に関東圏に多大な被害をもたらした台風19号。町田市でも多くの被害が出ています。町田市では10月12日(土)の午後に最接近し、総雨量は452.0ミリメートルを記録しました。また、最大瞬間風速は20.4メートル毎秒を観測しました。市内の主な被害状況については、幸い人的被害はなかったものの、倒木29件、土砂崩れ19件、道路冠水8件などがありました。

この様な状況の中で、今回私は「町田市の災害対策について」一般質問を行いました。

← 西友前の喫煙所。この間様々な方々よりご要望頂いておりましたが、来年度中には改装される事になりました。

町田市の「災害廃棄物処理計画」は万全といえるか！

町田市では2019年3月に「町田市災害廃棄物処理計画」を策定しています。今回台風19号で関東圏の被災地でも多く取り上げられていたこの災害廃棄物。ニュースなどでも山積みされた災害廃棄物の映像が衝撃的でした。この被害想定は今回の被災地に限った事ではなく、町田市でもいざという時には対応すべき課題です。そこで、この災害廃棄物の処理計画について、一般質問を行いました。

Q：「町田市災害廃棄物処理計画」について、いざ被災した際の家屋などから発生する災害廃棄物を一時的に持って行く「仮置き場」が各地域に適正に配置されていない計画となっているが、認識はどうか。これでは各家庭が家の前に廃棄物を山積みされても仕方ないのではないか。

A：ご指摘の通り、土地の関係で計画上ではなかなか適正な場所に仮置き場が設けられない状況となっている。しかし、今後より具体的な計画にする為、「災害廃棄物処理マニュアル」を策定する予定であるので、仮置き場の問題についても記載する様にしたい。

Q：今回の「町田市災害廃棄物処理計画」は想定が震災時のみとなっている様だが、河川の洪水ハザードマップも改訂されている通り、風水害に対する想定も盛り込むべきだと考えるがどうか。

A：ご指摘の通り、今回策定した「町田市災害廃棄物処理計画」は震災を想定した計画であり、台風や豪雨などの風水害は想定されていない。しかし、今後風水害については何時発災してもおかしくない事からご指摘の台風や豪雨などの風水害を想定する計画などもしっかりマニュアルなどに盛り込んでいく。